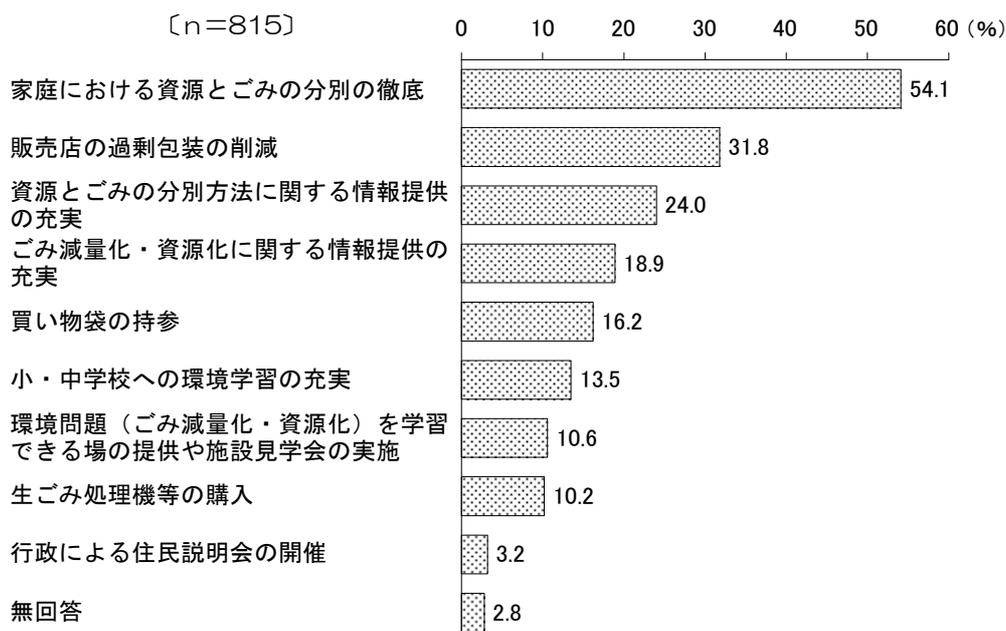


## 8 環境

### (1) ごみの減量化・資源化の推進 (A: 問 17)

問. ごみの減量化・資源化システムを推進する上で、あなたが特に重要と思われることは何ですか。(2つまで)

図8-1-1 ごみの減量化・資源化の推進



#### 【全体】

ごみの減量化・資源化システムを推進する上で重要と思うことについて聞いたところ、「家庭における資源とごみの分別の徹底」(54.1%)が5割半ばで最も高くなっている。次いで、「販売店の過剰包装の削減」(31.8%)、「資源とごみの分別方法に関する情報提供の充実」(24.0%)、「ごみ減量化・資源化に関する情報提供の充実」(18.9%)となっている。

#### 【経年変化】

新規設問のため、経年変化はなし。

【属性別】

性別にみると、女性で「買い物袋の持参」（19.9％）が男性より9.0ポイント高く、「販売店の過剰包装の削減」（34.2％）が男性より5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60歳代・70歳代で「家庭における資源とごみの分別の徹底」（65.0％・65.1％）が6割半ばで他の年代より高くなっている。また、20歳代で「小・中学校への環境学習の充実」（26.4％）が2割半ばで他の年代より高くなっている。

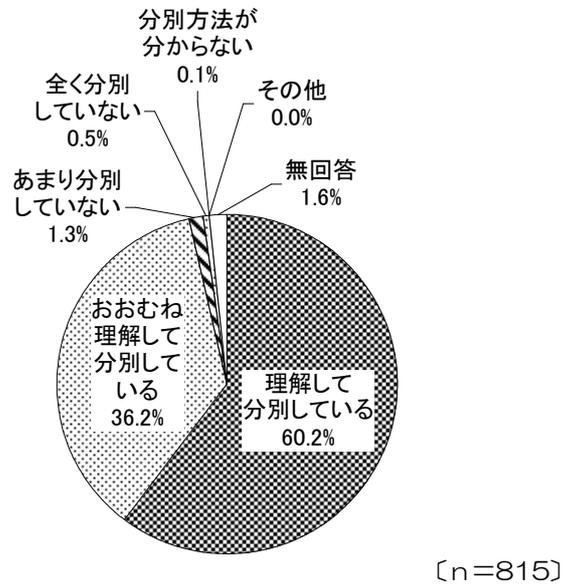
表8-1-1 ごみの減量化・資源化の推進—性別、年齢別（2つまでの複数回答）

		n	家庭における資源とごみの分別の徹底	販売店の過剰包装の削減	資源とごみの分別方法に関する情報提供の充実	ごみ減量化・資源化に関する情報提供の充実	買い物袋の持参	小・中学校への環境学習の充実	できる場の提供や施設見学会の実施（環境問題（ごみ減量化・資源化）を学習	生ごみ処理機等の購入	行政による住民説明会の開催	無回答
全 体		815	54.1	31.8	24.0	18.9	16.2	13.5	10.6	10.2	3.2	2.8
性別	男 性	358	55.6	28.5	24.9	18.4	10.9	13.7	12.0	11.7	5.6	2.8
	女 性	447	52.8	34.2	23.5	19.7	19.9	13.6	9.6	8.9	1.3	2.9
年 齢 別	20歳未満	12	50.0	16.7	25.0	16.7	50.0	25.0	-	-	-	-
	20～29歳	72	37.5	41.7	23.6	11.1	22.2	26.4	8.3	8.3	1.4	4.2
	30～39歳	149	43.0	34.9	26.8	24.2	14.8	18.8	10.7	12.8	-	1.3
	40～49歳	134	54.5	32.8	29.1	20.9	10.4	9.0	9.7	9.7	7.5	1.5
	50～59歳	156	55.1	34.6	24.4	14.1	12.8	10.3	12.8	13.5	5.1	1.9
	60～69歳	143	65.0	25.2	17.5	23.8	16.1	15.4	9.1	7.7	2.1	2.8
	70～79歳	109	65.1	20.2	26.6	15.6	21.1	9.2	13.8	7.3	3.7	4.6
80歳以上	33	54.5	42.4	12.1	21.2	15.2	-	9.1	12.1	-	12.1	

(2) 資源とごみの分別 (A: 問 18)

問. 資源とごみの分別方法を理解し、積極的に分別していますか。(1つだけ)

図8-2-1 資源とごみの分別



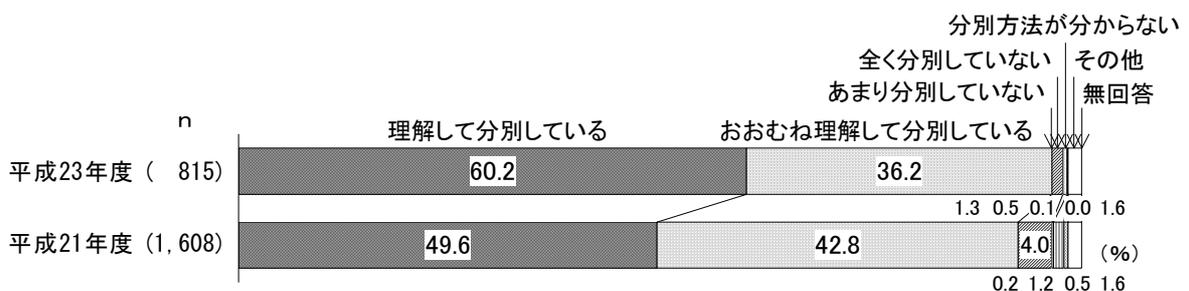
【全体】

資源とごみの分別について聞いたところ、「理解して分別している」(60.2%)が6割、「おおむね理解して分別している」(36.2%)が3割半ばとなっており、これらを合わせた『分別している』(96.4%)が9割半ばとなっている。

【経年変化】

前回調査との比較をみると、「理解して分別している」が10.6ポイント高くなっている。

図8-2-2 資源とごみの分別—経年変化

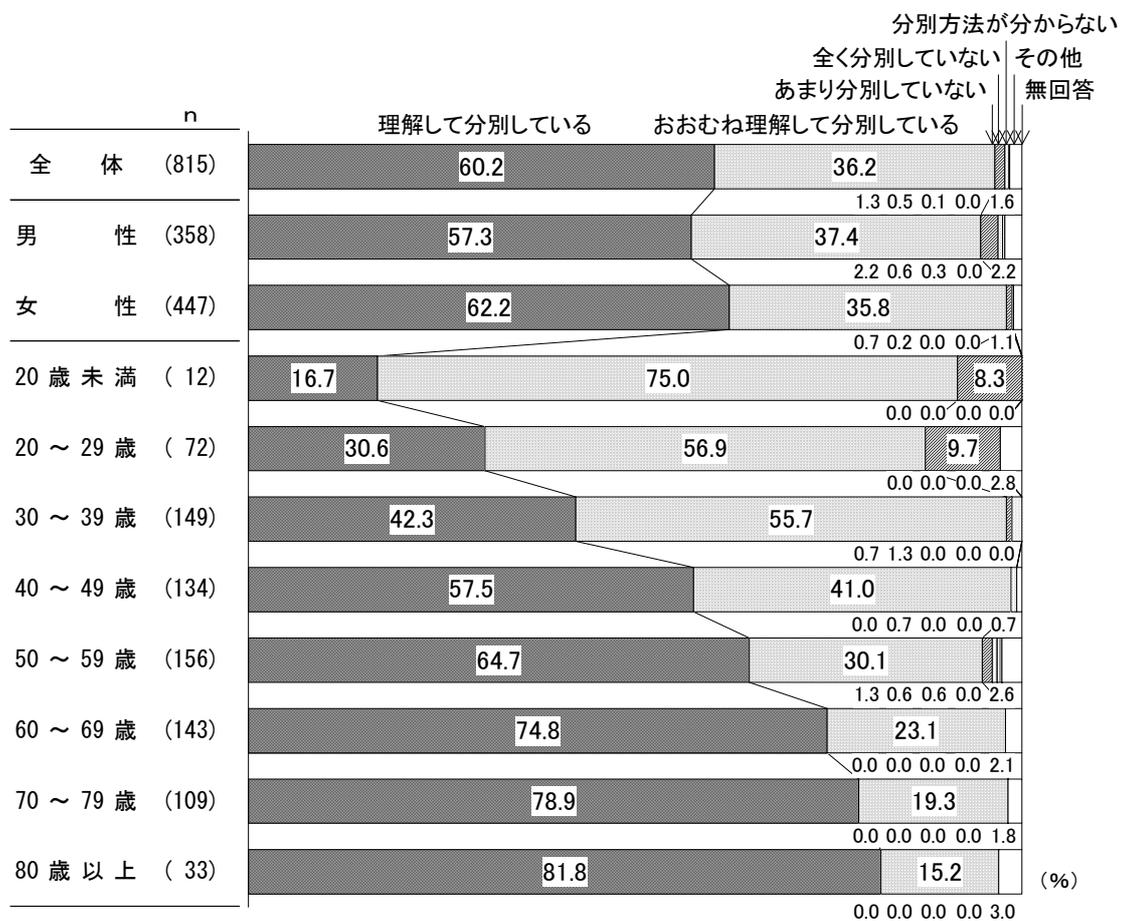


【属性別】

性別にみると、女性で「理解して分別している」(62.2%)が男性より4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「理解して分別している」は年代が高くなるにつれて占める割合が高くなる傾向にあり、「おおむね理解して分別している」は年代が低くなるにつれて占める割合が高くなる傾向になっている。

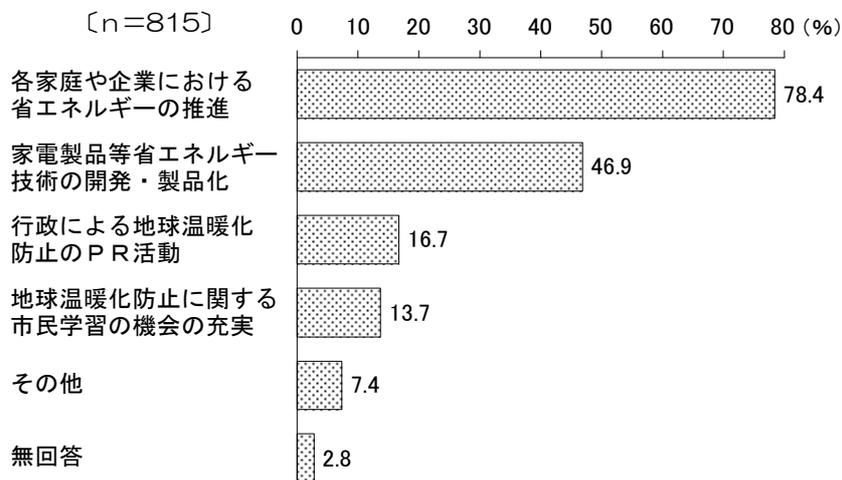
図8-2-3 資源とごみの分別—性別、年齢別



### (3) 地球温暖化防止のための取組（A：問19）

問. 地球温暖化防止には、どのような取組が特に必要だと思いますか。（2つまで）

図8-3-1 地球温暖化防止のための取組



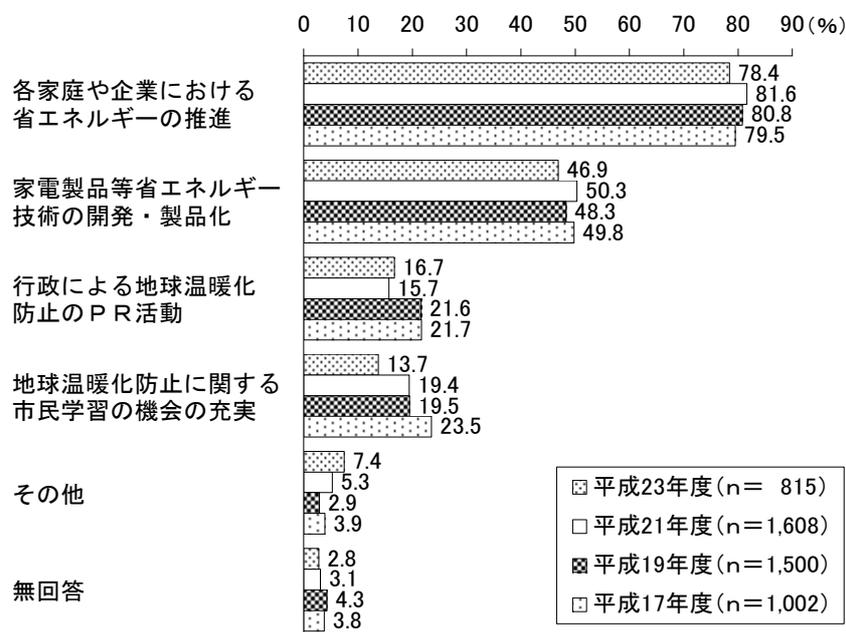
#### 【全体】

地球温暖化防止のための取組について聞いたところ、「各家庭や企業における省エネルギーの推進」（78.4%）が8割近くで最も高くなっている。次いで、「家電製品等省エネルギー技術の開発・製品化」（46.9%）、「行政による地球温暖化防止のPR活動」（16.7%）、「地球温暖化防止に関する市民学習の機会の充実」（13.7%）となっている。

#### 【経年変化】

前回調査、前々回調査、前々々回調査との比較をみると、「地球温暖化防止に関する市民学習の機会の充実」が減少傾向にあり、前回調査より5.7ポイント低くなっている。

図8-3-2 地球温暖化防止のための取組—経年変化（2つまでの複数回答）



【属性別】

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「行政による地球温暖化防止のPR活動」は70歳代（27.5%）が3割近く、80歳以上（45.5%）が4割半ばで他の年代より高くなっている。

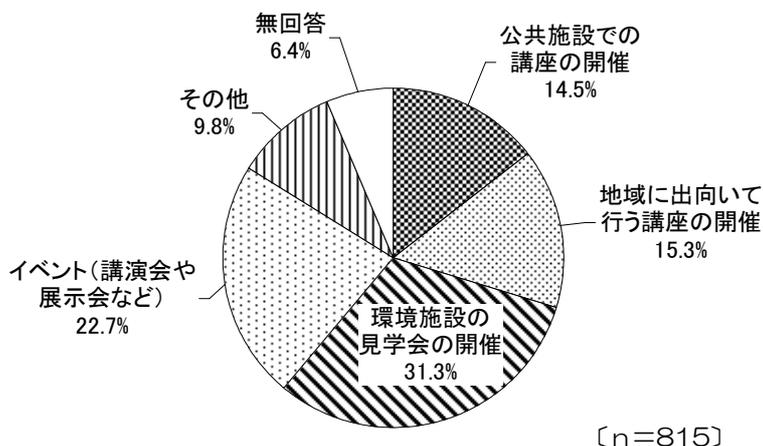
表8-3-1 地球温暖化防止のための取組—性別、年齢別（2つまでの複数回答）

			(%)					
		n	各 省 家 庭 エ ネ ル ギ ー の 推 進 を お け る	家 電 製 品 等 省 エ ネ ル 化 の 開 発	行 政 に よ る 地 球 温 暖 化 防 止 の P R 活 動	地 球 温 暖 化 防 止 の 機 会 に 関 する 充 実 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		815	78.4	46.9	16.7	13.7	7.4	2.8
性 別	男 性	358	76.3	46.6	18.4	12.3	9.8	3.4
	女 性	447	80.1	47.2	15.7	14.3	5.6	2.5
年 齢 別	20 歳 未 満	12	75.0	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3
	20 ～ 29 歳	72	77.8	52.8	4.2	8.3	13.9	4.2
	30 ～ 39 歳	149	80.5	48.3	13.4	15.4	6.0	-
	40 ～ 49 歳	134	85.1	47.8	10.4	9.0	4.5	1.5
	50 ～ 59 歳	156	78.8	48.1	14.7	12.2	9.6	1.9
	60 ～ 69 歳	143	75.5	44.1	19.6	18.9	9.8	4.2
	70 ～ 79 歳	109	73.4	46.8	27.5	16.5	2.8	6.4
80 歳 以 上	33	66.7	45.5	45.5	12.1	3.0	3.0	

(4) 環境問題啓発事業への参加 (A: 問 20)

問. 行政が行う環境問題に関する啓発事業として、どのようなものに参加してみたいですか。(1つだけ)

図8-4-1 環境問題啓発事業への参加



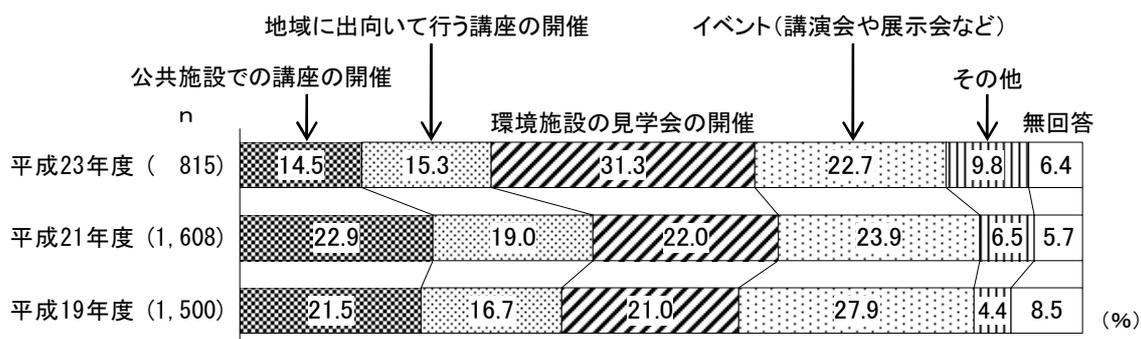
【全体】

どのような環境問題啓発事業に参加してみたいか聞いたところ、「環境施設の見学会の開催」(31.3%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「イベント(講演会や展示会など)」(22.7%)、「地域に出向いて行う講座の開催」(15.3%)、「公共施設での講座の開催」(14.5%)となっている。

【経年変化】

前回調査までは環境問題啓発事業の有効性について質問したが、今回調査では参加意向について質問しているため、参考として掲載する。

図8-4-2 環境問題啓発事業への参加—経年変化

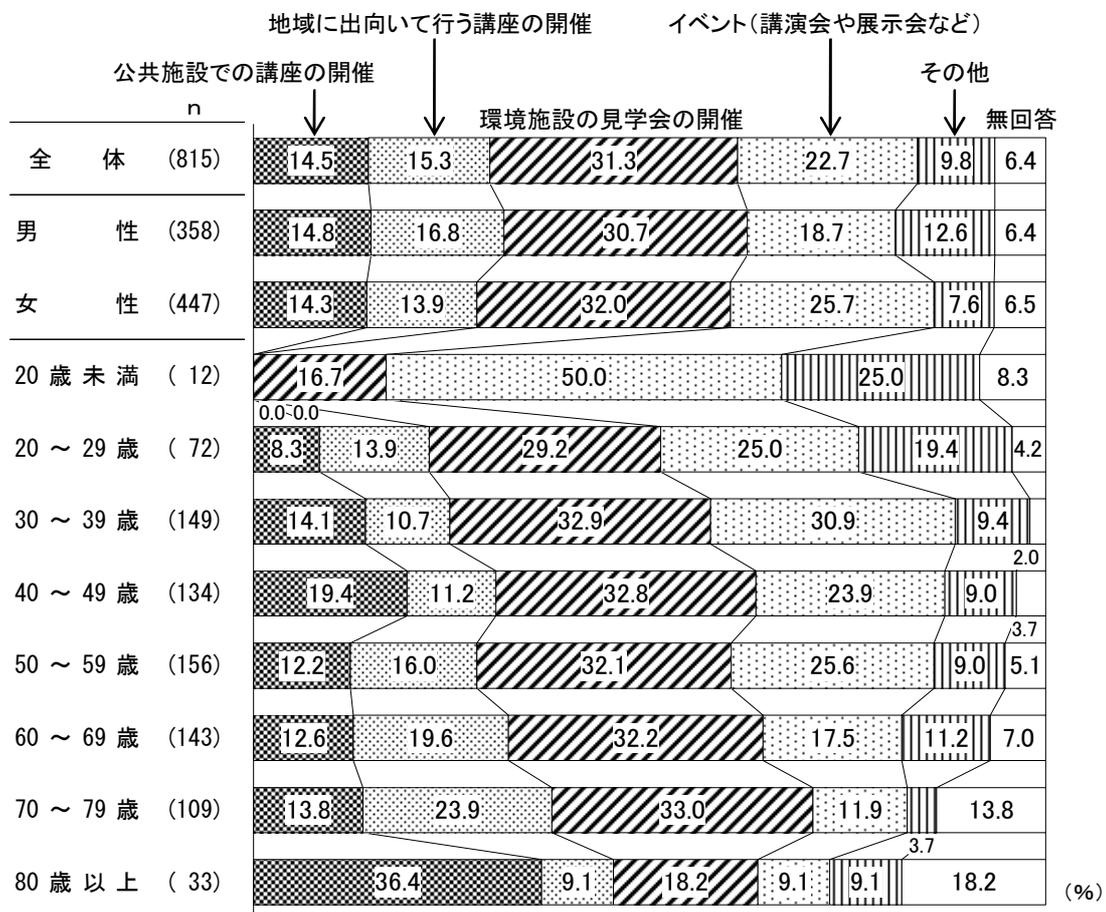


【属性別】

性別にみると、女性で「イベント（講演会や展示会など）」（25.7%）が男性より7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、80歳以上で「公共施設での講座の開催」（36.4%）が3割半ば、70歳代で「地域に出向いて行う講座の開催」（23.9%）が2割を超え他の年代より高くなっている。また、「イベント（講演会や展示会など）」はおおむね年代が低くなるにつれて占める割合が高くなる傾向にある。

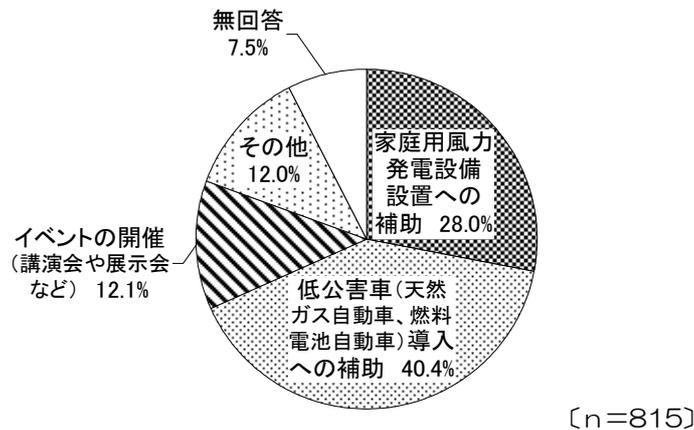
図8-4-3 環境問題啓発事業への参加—性別、年齢別



(5) 実践してほしい新エネルギー施策 (A: 問 21)

問. 現在、厚木市では住宅用太陽光発電や電気自動車の購入に支援をしていますが、他にも実施してほしい新エネルギー施策はありますか。(1つだけ)

図8-5-1 実践してほしい新エネルギー施策



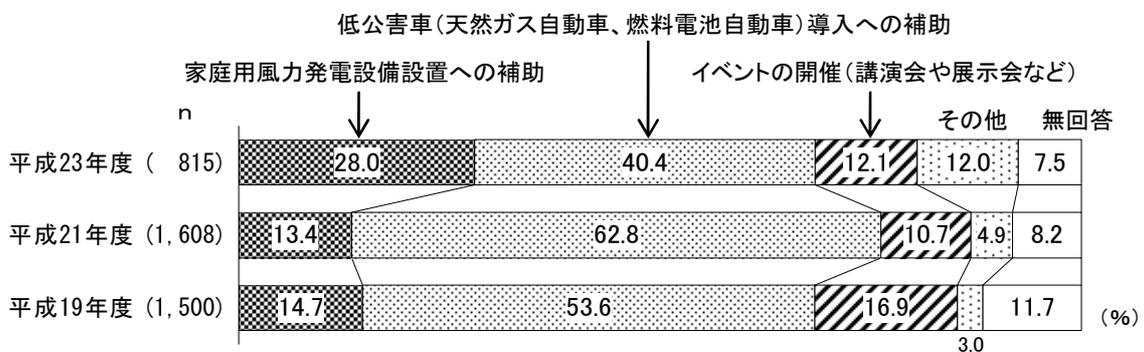
【全体】

実践してほしい新エネルギー施策について聞いたところ、「低公害車(天然ガス自動車、燃料電池自動車)導入への補助」(40.4%)が4割で最も高くなっている。次いで、「家庭用風力発電設備設置への補助」(28.0%)、「イベントの開催(講演会や展示会など)」(12.1%)となっている。

【経年変化】

前回調査、前々回調査との比較をみると、「低公害車(天然ガス自動車、燃料電池自動車)導入への補助」が前回調査より22.4ポイント低くなっている。一方、「家庭用風力発電設備設置への補助」が前回調査より14.6ポイント高くなっている。

図8-5-2 実践してほしい新エネルギー施策—経年変化



(注)「家庭用風力発電設備設置への補助」は、前回調査までは「風力発電設備設置への補助」、「低公害車(天然ガス自動車、燃料電池自動車)導入への補助」は、前回調査までは「低公害車(電気自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車)導入への補助」となっている。

【属性別】

性別にみると、女性で「家庭用風力発電設備設置への補助」(30.9%)が男性より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70歳代で「イベントの開催(講演会や展示会など)」(24.8%)が2割半ばで他の年代より高くなっている。

図8-5-3 実践してほしい新エネルギー施策—性別、年齢別

